

苗箱施薬を 正しく使いましょう！

ウンカの被害が
増えています！

苗箱施薬の性能があがり、いもち病・ウンカなど、稲にとって重大な病気・虫を予防することができるようになりましたが、それを使う側の問題で、**効果を十分に発揮できていない**事例も見受けられます。

まずは、正しい使い方で苗箱施薬を使うことが大事です！

薬の量は**50g散布**することが必要です。
これ以下の量だと、効果が低下します。

苗箱施薬の散布方法



① 露をおとす

※露があると薬害を起すこともある

② 箱当たり50gを均一に散布

③ 軽く払う

※葉にひっかかっている薬剤を土の上に落とす

④ 軽く水やり

※薬剤を土の上に落ち着かせる

- ・**施薬量は、箱当り50gを均一に散布することが大切です。**
- ・処理苗の移動や田植時に薬剤をこぼさないように作業することも大切です。
- ・移植当日にあわてて散布するより、3日前～前日にゆっくり散布することが望ましいです。薬剤が土の上に落ち着きますので、苗が吸収しやすくなります。

※WCS・飼料米にも必ず苗箱施薬を散布してください！